

京都SDGsパートナー登録証



合同会社ラピスプライベートは、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

食品ロス削減という観点から、市場に出回らなくなった野菜を絵の具に生まれ変わらせることで、資源循環型社会に貢献します。廃棄されるはずだった野菜に新たな価値を与え、資源の有効活用につなげるとともに、消費者にもより持続可能な消費を促すことで、より良い社会の実現に貢献します。

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】市場に出回らなくなった野菜を絵の具に生まれ変わらせることで、廃棄されるはずだった野菜に新たな価値を与える取組を通じて、農業者の新たな収益源を創出し、地域経済の振興につなげていきます。

【社会】形や大きさが一般的な野菜とは異なる、『へんてこりん野菜』と呼ばれる野菜に新たな価値を見出すことで、子どもたちに食の多様性や、見た目にとらわれずものの価値を見つめる目を養います。これらの野菜を絵の具にすることで、子どもたちは創造性を育みながら、食の大切さを学び、自己肯定感へとつなげます。

【環境】食品ロス削減のため、廃棄される野菜を『べじからふる絵の具』として生まれ変わらせました。これにより、食品廃棄に伴う温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化防止に貢献。リサイクル可能なパッケージを採用することで、環境負荷の低減にも努めています。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

京都産の規格外野菜を『京べじからふる絵の具』へと生まれ変わらせることで、京都の豊かな自然と食文化を絵の具を通して表現。地元の子供たちや大人を対象としたワークショップを開催するなど、地域に新たな文化を創造し、地域全体に活力を与えています。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00529

合同会社ラピスプライベート

登録期間 2024年10月15日 ~ 2026年10月14日



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の1つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

